

お茶の水女子大学附属高等学校アフガンボランティア部

気仙沼・南三陸被災地研修記 ③

日程 2015年12月12日～13日

「若者のパワーを復興へ」

1年 金子 紗也

私は、12月12、13日に被災地研修のために宮城県気仙沼市を訪れました。その際に気仙沼市青少年育成センターの海原さんからお話を聞く機会がありました。その中で私は「底上げ」「底上げyou th」というNPO団体について特に興味を持ちました。「底上げ」は元々ボランティアをしてい

た20代から30代の方々が若者を対象とし人手不足の場所へのボランティアの提供をしている。大人のまだまだ観光にまわす手がないか

ます。「底上げyou th」は地元の高校生の有志団体で町と自分を楽しく考える場所を提供しています。「底上げyou th」の方々が、



ホヤぼーやで記念撮影

ら自分達が観光を盛り上げようと復興に向けて努力しているのを知り、私と同じ高校生なのに地元に貢献していてすごいと思いました。

今回、まだまだ復興は始まったばかりだとあらためて知りました。私も自分に出来ることを探して少しでも復興の力になりたいです。

「百聞は一見に如かず」

1年 沢井 南

私が今回の研修で印象に残ったことは、気仙沼の魚市場の様子である。気仙沼の魚市場に関して私が知っていたことは、当時の被害が深刻であったということだけで、復興がどのくらい進んでいるのか分からなかった。実際に「お魚いちば」を訪れてみる

と、いちばで震災の悲しみを感じることはなかった。むしろその様子は、「気仙沼はもう大丈夫だから、これからもたくさん遊びに来てね」という私たちへのメッセージに思えた。私は、震災のことを深く胸に留めておきながらも、前を向いて一歩ずつ復興

【スケジュール】

1日目

- ・南三陸町仮設商店街、モアイ像、旧防災庁舎等見学
- ・気仙沼向洋高校～地福寺墓地等海岸線(日没前)
- ・唐桑半島へ～唐桑町宿舎つなかん泊

2日目

- ・気仙沼市教育委員会前(車内にて) 宮城教育大学教育復興支援センター気仙沼事務所 茂木 ゆみ子さん講話
- ・気仙沼市青少年育成センター海原航太さん合流の上案内開始
- ・リアスアーク美術館見学、プラザホテル屋上より展望
- ・昼食(気仙沼「海の市」)
- ・シャークミュージアム見学
- ・気仙沼魚市場・漁港 見学

へと歩み始めた気仙沼の人々の姿に感動した。私はいちばで大好きないくらを買った。もちろん、気仙沼産だ。

私たちが今、被災地の復興の為にできることは、実際に被災地を訪ね、より多くの人に復興の様子を伝えることだと思う。その結果、たくさんの方が被災地に足を運んでくれたら良いと思う。私たちに震災についてあらためて考えさせる機会をつくってくださったことに感謝し、これからの活動にも励みたい。